



今月のみさとし／先祖並に有縁無縁の日々の供養は、一家の情理円満である。(尊者のご遺文35頁)

解脫金剛尊者盂蘭盆法要

コロナ禍の中、御寺泉涌寺にて厳修



上村長老猊下を導師に妙応殿にて営まれた解脫金剛尊者盂蘭盆法要



田中英次京都教区長を先達に勤行が捧げられた

られていると聞きました。本日は高齢の方もおられ、私も気を付けていますけれども、どうぞ皆さんもお気をつけていただきたいと思います」とご挨拶を賜った。

解脫会を代表して挨拶に立った岡野理事長は新型コロナ禍の中で参列した方々に「大変な思いを持って参加されたと思います。不安や恐怖心に勝つには本人の力で乗り越えるしかありません。私たちは常に宝号を唱え、金剛さまと共に安心感の中で感謝の心や精神力を向上させて、覚醒したその心で後に続く会員の心に寄り添っていきましょう」と述べた。

法要終了後は関西道場に移動し、昼食と併せて懇談会。岡野理事長を交えて、関西圏域の立教百年に向けた活動計画の説明や討議が行われた。

京都・御寺泉涌寺において、解脫金剛尊者の盂蘭盆法要が8月13日午前11時より行われた。本年は新型コロナウィルスの感染防止のため参列の人数が制限され、岡野英夫理事長はじめ本部役員、地元京都教区など関西圏域の教区役員と支部長など約30名が参列した。

まず靈明殿之儀では、皇祖皇靈に対して岡野理事長、本部役員が焼香の後、藤原博内務局長の先達により参加者一同で般若心経を念唱した。

続く妙応殿之儀では、金剛さまの御尊牌が海会堂より移されて仮安置された祭壇前において、導師の上村貞郎長老猊下と山内職衆による解脫金剛尊者と会員各家先亡者精靈の法要が営まれた。ご焼香では、岡野理事長に続いて二名ずつが順番に十分な距離をとって焼香台の前にて祈りを捧げた。次に、田中英次京都教区長の先達により全員で勤行を行った。

その後、上村長老猊下からは、「解脫会の皆様は命をかけてコロナの収束を祈

直轄道場で盂蘭盆法要

全国の道場で盂蘭盆法要

盂蘭盆法要が本部道場では旧盆の7月15日、その他各直轄道場では8月15日、それぞれ感謝日行事に先立って行われた。

本部道場では午後1時より、藤原博内務局長が導師となり、御神前右側に設けられた祭壇に向かい、開教以来先亡者精靈、会員各家先祖代々之精靈、各種斎没者精靈、法界無縁萬靈、本年新盆を迎えた各精靈（生前の役職が支部長以上）=右記参照=に対し、真心からの天茶供養が捧げられた。その後、令和2年7月豪雨災害による犠牲者のお靈魂に対して特別供養が行われた。



令和2年 新盆特別法要精靈 (敬称略)

岡野 正	埼玉北本宿	名譽顧問・名譽支部長
永田 秀夫	大阪松虫	相談役・支部長
野本 正次	新潟加茂	参与・名譽支部長
松下みち子	松本宮淵	参与・支部長
仲佐 正	江戸川北	参与・名譽支部長
柳澤 忠志	長野下諏訪	名譽支部長
山本 琴代	山梨富士	名譽支部長
中町けい子	日本橋中央	名譽支部長
高島 健吉	向島	名譽支部長
黒川 勝	名古屋仲田	名譽支部長
力石惠美子	神奈川湯河原	支部長
森 リサ子	足寄町東	前支部長
杉下知榮子	小樽花園	元支部長
加藤龍之助	※ 森下	元支部長
神保みつ江	※ 小山銀座	元支部長

※閉止された支部

第177回秋季大祭について

大祭は、会祖解脱金剛尊者が「人生最尊の行事」として定められ、会員一人ひとりが主催者となって執り行わせていただく感謝の祭典です。今大祭は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、以下の通りとなります。ご理解とご協力をお願い致します。

今大祭における注意事項

- 御靈地における会員の参加人数を各日上限1,000人（合計2,000人）に制限させていただきます。
- 参加者は、事前に支部に送付しましたリボンをつけてご参列ください。
- 受付開始は8:30です。
- 受付を6カ所設置し、手指の消毒、非接触型体温計による検温、リボンチェックなどを行いますのでご協力ください。
- 会場は、全て椅子席で自由席となります。
- 第1部式典はプログラムを変更して行います。第2部は行いません。
- 支部旗の入場行進は、新支部長のみとなります。
- 御靈地で宿泊はできません。
- 大祭では、天茶等の事業部商品、出版物の販売は行いません。
- 諸札の頒布は、社務所にて行います。
- ※マスク着用をお願いいたします。
- ※37.5度以上の熱がある方は参列できません。

※当日発熱などの症状が出た場合は、解熱剤などを服用せず、参加をご辞退ください。

参加できない方はオンラインにて行事にご参加ください。



大祭の様子はライブ配信されます

（本会ホームページ会員専用ページの配信用リンクをご参照ください）

九州教区・長崎原爆犠牲者供養祭

千羽鶴を捧げ慰霊の供養

九州教区では7月26日、長崎原爆犠牲者の供養祭を平和公園内で開催した。

本行事は、平成24年より九州教区北地区の公的供養として行っており、今年度から九州教区としての開催を予定していた。しかし、新型コロナウイルスの影響により、教区役員8名による代表のみでの供養となり、九州教区会員有志が心を寄せて折った千羽鶴が捧げられる中、

行われた。

供養祭当日は、雨上がりに晴れ間がのぞく中、まず千々松勝明担任部長の開会挨拶の後、犠牲となった諸靈に1分間の黙祷を捧げた。続いて弘中由治教区長の諷誦文奏上の後、懺悔文三反、般若心経七巻を念唱し真心からの祈りと不戦の誓いが捧げら



れた。

供養の後に例年行っていた、被爆体験者の語り部やパネル展示等、平和学習会は感染防止の観点から中止となった。

10月度研修のお知らせ

第161回健康学園コース

今回は、「家庭内で行うことができる健康指導」をテーマに行います。尚、新型コロナウイルス感染防止策を十分に施す予定ですが、諸事情により急遽開催が中止になる場合もありますので、予めご承知おきください。

日 時：10月25日（日）10:00～15:45（受付9:30～）

申込締切：9月25日（金）

会 場：御靈地・解脱研修センター

対 象：会員とそのご家族

※実習の都合上、ご家族やご親族、又は支部内で信頼できる方同士、2人1組でお申し込み下さい。



定 員：上限15組（30名）

研修費：2人で6,000円（1人あたり3,000円）

申込み・お問い合わせ：解脱会教育部 健康指導・研修係

TEL：03-3353-3667（教育部直通）048-593-0190（御靈地健康指導室）FAX：03-3353-3708（教務局共通）